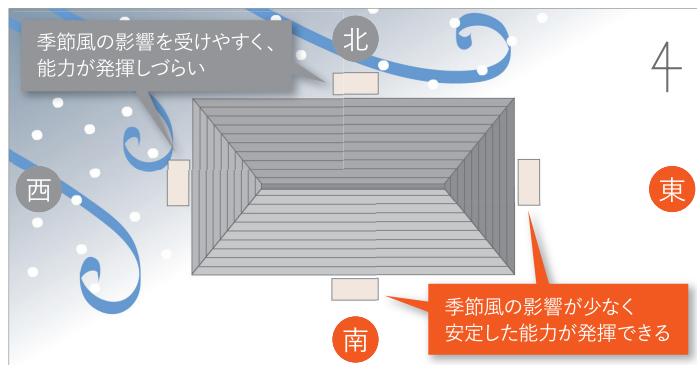


安定した能力を発揮するために、室外機設置時の3つのポイント。

エアコンの室外機は積雪・風雪などの影響を受けると能力が著しく低下します。以下の内容を確認して正しく設置してください。

1 設置位置

北側や西側は季節風の影響を受けやすいため、可能な限り季節風のあたりにくい**東側や南側**に設置してください。



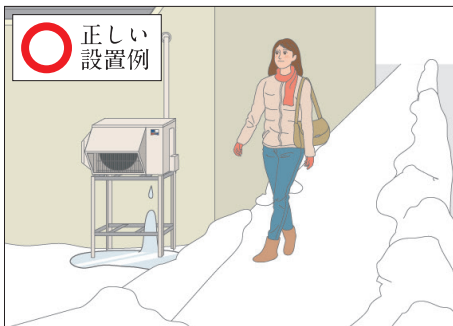
2 ドレン水の排水対策

通路付近に設置する場合

ドレン水で地面が凍結しますので、人の通る場所や凍結が起こると問題のある場所への設置は避けてください。

設置のポイント

- ①ドレン水凍結の成長を考慮して地面からの高さを十分とる
- ②地面に流れたドレン水が凍結しても問題のない場所を選定する

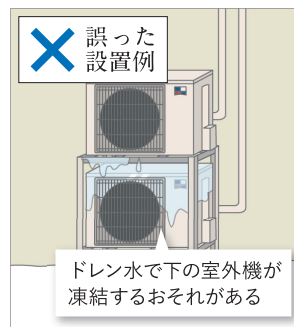
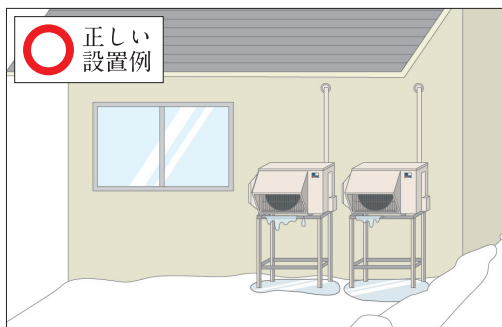


室外機を複数台設置する場合

寒冷地では室外機の二段設置は行わないでください。ドレン水で下の室外機が凍結するおそれがあります。

設置のポイント

1台ずつ横に並べる

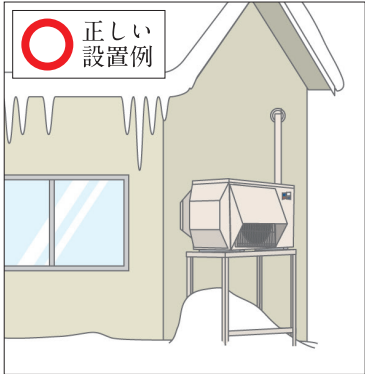

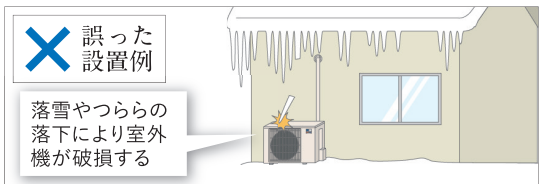


3 雪対策 *必要に応じて防雪フードを取り付けてください。

地上に設置する場合

二段架台*1などを使用し、積雪とドレン水凍結の影響がない高さに設置してください。

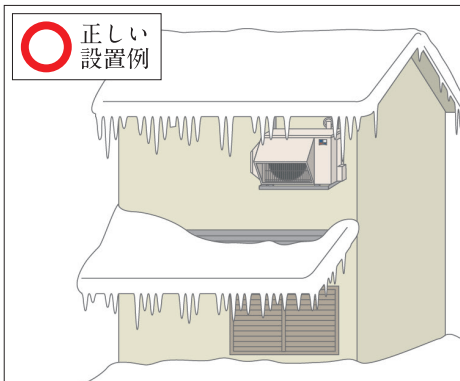
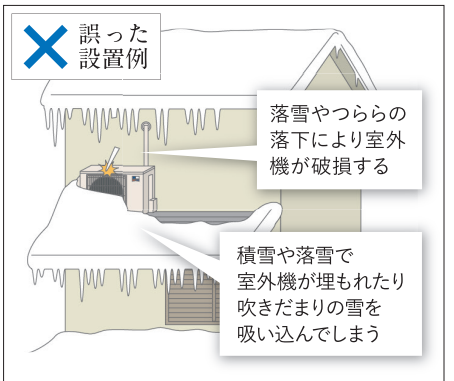
*1:寒冷地では、室外機の設置位置を高くするために使用します。室外機の二段設置は行わないでください。

<p>設置のポイント</p> <ul style="list-style-type: none">①雪で埋もれない場所と高さ (ドレン水凍結の影響がない場所と高さ)②積雪や吹きだまりの影響がない場所③落雪やつらら落下の影響がない場所	<p>正しい設置例</p> 	<p>誤った設置例</p> <p>積雪や落雪で室外機が埋もれたり吹きだまりの雪を吸い込んでしまう</p> 
	<p>誤った設置例</p> <p>落雪やつららの落下により室外機が破損する</p> 	

上階・壁面に設置する場合

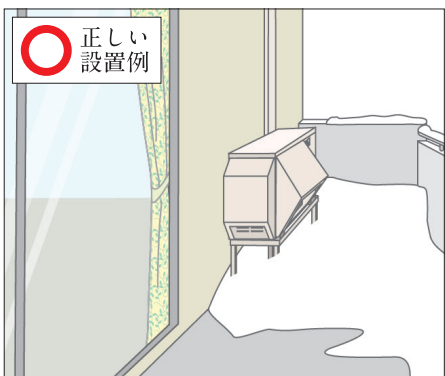
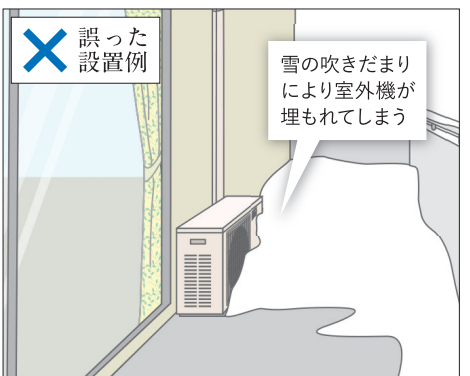
壁面用据付台*2を使用し、積雪・落雪やつららなどの影響を受けにくい場所に設置してください。

また、ドレン水の排水にも注意してください。 *2:防雪フード吸込側後は取り付けられません。

<p>設置のポイント</p> <ul style="list-style-type: none">①雪で埋もれない場所 (屋根上に設置しない)②落雪やつらら落下の影響がない場所③室外機設置に十分耐える強度がある場所 <p><small>*上記設置条件が困難な場合、地上設置のこと。</small></p>	<p>正しい設置例</p> 	<p>誤った設置例</p> <p>落雪やつららの落下により室外機が破損する</p> <p>積雪や落雪で室外機が埋もれたり吹きだまりの雪を吸い込んでしまう</p> 
---	---	---

バルコニーに設置する場合

一段架台などを使用し、積雪とドレン水凍結の影響がない高さで設置してください。

<p>設置のポイント</p> <ul style="list-style-type: none">①雪で埋もれない場所と高さ②ドレン水凍結の影響がない高さ③吹きだまりにならない場所	<p>正しい設置例</p> 	<p>誤った設置例</p> <p>雪の吹きだまりにより室外機が埋もれてしまう</p> 
---	---	---

*積雪・風雪などによる能力低下を抑えるために、専用の別売部品をご用意しています。詳しくはカタログをご覧ください。